

昨年は都民ファースト、アメリカファーストを訴えた候補者たちが選挙に勝ちました。応物学会も会員サービス第一でいきましょう。学会は会員の年会費と講演会・参加費で成り立っています。学会が上から目線にならないことが大切。UKとコロンビアの国民投票結果は、上から目線の否定でした。経費が会員サービスに使われるよう、監事としてウォッチします。

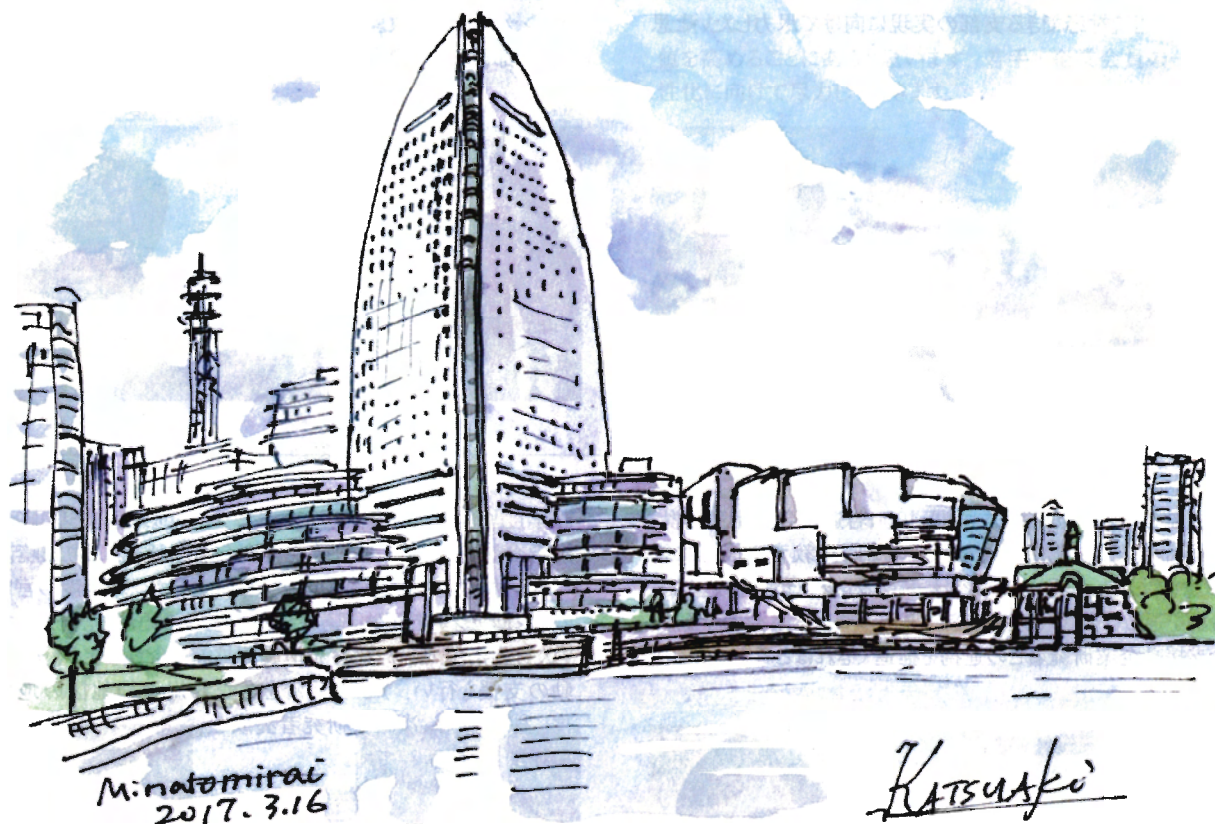


監事

河田 聡 / Satoshi KAWATA
ナノフoton(株)

今月のトピックス

最速レポート 2017年春季学術講演会



講演会3日めに天候が回復。澄みわたる青空と、みなとみらい。スケッチ 『応用物理』外部記者クラブ 佐藤 勝昭 (JST)

3月14日(火)～17日(金)の4日間、パシフィック横浜(横浜市)で開催された第64回応用物理学会春季学術講演会は、発表件数4046件、参加者7114人に上る大盛況となりました。機関誌企画・編集委員会と『応用物理』外部記者クラブは、速報を本会のFacebookで発信しています。ここでは、講演会レポートの第1弾として速報の増補版を載録し、講演会の模様的一端をご紹介します。



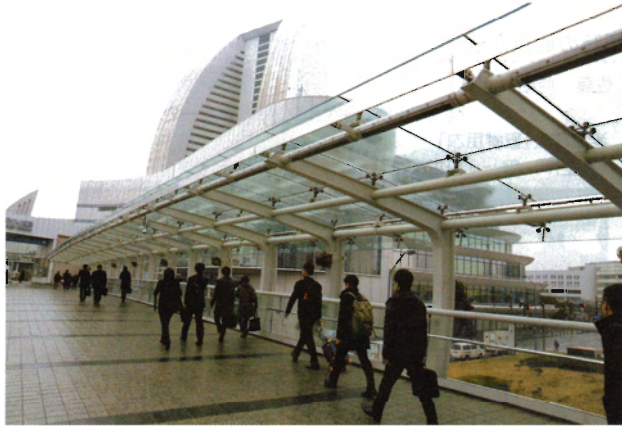
応用物理学会Facebook



応用物理学会Twitter



応用物理学会LINE@
もぜひご覧ください。



あいにくの雨模様となった初日 みなとみらい駅から会場へ向かう参加者



レジストレーション



公式カイドフック、参加票をデコレートするリボンハッチ、ストラップ 全てご自由にお持ちいただけます。そして、スタンプラリーもお忘れなく!



レジストレーション付近でリボンハッチを見つけました。「Job Wanted」、「Collaborator Wanted」のハッチはユニークで、ひょっとしたら役に立つかもしれませんね! 『応用物理』外部記者 田邊 孝純 (慶大)



各分科会誌や分科会が主催した研究会などのテキストを販売中 過去の講演会で開催されたチュートリアルテキストもここでゲット!



初めての応物。これから活躍してくれると、うれしいですね 『応用物理』外部記者 古川 一暁 (明星大)

特別シンポジウム

キントウンをつくる~自動運転の課題と応物への期待~

3月14日(火) 13:00~18:10

自動運転に関する特別シンポジウムに来ています 1000人の会場でもそれなりに埋まっているのが、このトピックが熱いことを示していますね。このメインホール、会場の椅子が心地いい。さすが、パシフィコ。昼飯後はちょっとつらいけど、頑張って聴講します!!

『応用物理』外部記者 西山 伸彦 (東工大)



口頭講演

6.2カーボン系薄膜

3月14日(火) 13:15~18:15

ダイヤモンドのデバイス応用のセッションは大入り満員でした。実は、午前中に行われたスピントロニクス関係のセッションはもっとすごい人気で、写真も撮れませんでした。部屋が狭いと、会場内の移動も大変! 内開きの扉は、立ち見が出たとき入退室に支障もあります。でも、狭いくらいが応物らしくていいです とにかく盛況です

『応用物理』外部記者 小泉 聡 (NIMS)



口頭講演

6.6プローブ顕微鏡

3月14日(火) 13:15~17:45

今回が応物講演会デビューという方も多いと思います。フレッシュな若手会員の講演に加えて、こんな講演も、85歳になられる西川治先生(金沢工大産学連携)が、現役の研究者として発表されました。

機関誌企画・編集委員会 近藤 高志 (東大)



懇親会

3月14日(火) 18:30~

パシフィコ横浜のホテル棟「ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル」のインターコンチネンタルボールルームで開催された懇親会。隣の宴会場ベイビューでは、夜の横浜港の風景を楽しむことができました。



特別シンポジウム

科学技術の未来に向けたダイバーシティ推進～男女・文理・職種・国籍の観点から～

3月15日(水) 10:00～17:30 文・イラスト『応用物理』外部記者クラブ 佐藤 勝昭 (JST)
標記シンポジウムが、展示ホールの一角を囲った会場で開催された。



全体趣旨説明
増田 淳氏
(男女共同参画委員会委員 (2016年度委員長), 産総研)



講演「文理分離の実態と課題」
河野 銀子氏 (山形大)

新聞記事に基づいて、「文理」を調査。理系・文系という言葉は80年代から使われ始め、2014～15年がピークだという。高校での文理科目の単位割り当てを分析。高校の文系、理系生徒にアサインされた文理科目の単位数は、進学校ではあまり差がないが、低ランク校では文理科目の単位数の差が大きかった。このような調査に基づき、多様性推進から文理の在り方を提言した。



講演「研究所で働く、研究者ではない人たちの話」
井川 奈々子氏 (産総研)

高信頼性太陽電池モジュールの開発・評価コンソーシアムを、事務方として研究者と対話しながら支えた経験話をした。結論として、研究と事務はきっぱり切り離された関係ではない。互いに助け合える関係になることが重要。事務はある程度、研究内容の理解がないとよい成果に結び付かない。



講演「応用物理学会事務局から見た学会運営、会員との関わり」
白石 陽子氏 (左)、塩尻 誠子氏 (右)
(応用物理学会)

白石さんは、応物学会の女性比率は会員が6%、代議員が13%、理事は12%などの実態を報告。その後、銀行員だった経験に基づき、「トップダウンの一方的な施策だけではダメ、ボトムアップが必要」と述べた。塩尻さんは、応物学会の特徴として「会員の会員による会員のための学会」、「職員と会員、執行部と職員が近い」、「分科会、研究会、インダストリアルチャプター、スチューデントチャプターなどが活発」を挙げ、多様性を重視した学会にしたいと話した。



午後の部趣旨説明
河西 奈保子氏
(男女共同参画委員会委員長, NTT)



基調講演「Integrating gender into research and innovation for better outcomes」
Dr. Elizabeth Pollitzer (英国 Portia)

2017年5月25、26日に東京で開催される「Gender Summit 10 (GS10)」の準備のために来日。性差を的確に捉えることがイノベーションのために必要と述べた。



基調講演「Movement of Gender Research and Innovation in Japan & Asia Pacific - Toward Gender Summit 10 -」
渡辺 美代子氏 (JST)

GS10の主催者代表として、その意義を語った。



パネルディスカッション
松木 伸行氏 (神奈川大)

このあと、財満鎮明副会長(名大)、男女共同参画委員会の次期委員長である松木氏も交え、パネルディスカッションが行われ、評価の問題などについて意見が交わされた。

シンポジウム

柔らかい材料を利用したソフトロボット

～材料・エレクトロニクス・機械分野の融合を目指して～

3月15日(水) 13:15～17:45

①有機分子・バイオエレクトロニクス分科会企画の標記シンポジウムが開催されています。硬い素材を使った従来型ロボットではなく、軟らかい素材を使った(タコや人間のような)ソフトロボットの基本概念、最新の研究事例、将来像などが議論されています。

機関誌企画・編集委員会
石田 謙司 (神戸大)

②Prof. Rolf Pfeiferの特別講演の様子。応用物理学会では、取り上げられたことがなかったテーマでは?

『応用物理』外部記者
古川 一暁 (明星大)



シンポジウム

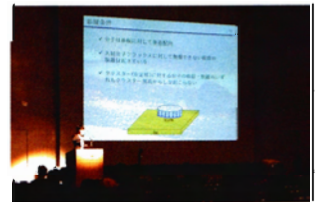
有機薄膜素子作製その場観測技術の展望

～「作って測る」から「作りながら測る」へ～

3月15日(水) 13:30～17:00

有機分子・バイオエレクトロニクス分科会企画の標記シンポジウムが開催されています。水晶振動子マイクロバランス法、赤外スペクトル測定法、光子分光法、放射光、分光分析法などを用いた有機薄膜の形成過程、デバイス駆動過程のリアルタイム評価方法について、最新の研究紹介が行われています。

機関誌企画・編集委員会
石田 謙司 (神戸大)



口頭講演

17.1カーボンナノチューブ、他のナノカーボン材料

3月15日(水) 13.45～18.30

カーボンナノチューブの光物性、紡糸、複合材、トランジスタ。さらにカーボンナノホーンに至るまで幅広く、活発に討論されました。

『応用物理』外部記者
岡崎 俊也 (産総研)



ポスター講演

12.6 ナノバイオテクノロジー

3月16日(木) 9:30~11:30

展示ホールBのポスター会場です。これから、始まります!

『応用物理』外部記者
古川 一暁 (明星大)



夜の応物学会

3月16日(木) 深夜(関内某所)

小川真一フェロー (産総研, 右写真の左から3人め)を囲んだ夜の応物学会が盛況です。前田悦男 (ecstasy man) 先生 (東大)も参加されました。昼の会議も大切ですが、夜もディープな議論を深めませんか?

『応用物理』外部記者
三成 剛生 (NIMS)



ポスター講演

3.6 超高速・高強度レーザー

3月17日(金) 9:30~11:30

ポスターセッション、始まっています! ファイバコムやマイクロコムをはじめとした、デバイススペースのホットなトピックに関する研究が目白押しです

『応用物理』外部記者
田邊 孝純 (慶大)



展示ホール

ポスターセッション、企業展示ともに多くの人が訪れ、熱の入った議論を行う人、展示ブースの新製品の説明に耳を傾ける人など、活気にあふれていました。(3月14日(火)午後)

『応用物理』外部記者
久保 敦 (筑波大)



応物キャリア
相談会



リフレッシュ
理科教室

JSAP EXPO Spring 2017

シンポジウム

先進パワーデバイスのプロセス技術

3月16日(木) 13:45~18:30

急激に製品応用が拡大しているパワーデバイスに関するシンポジウムで、大変盛況となりました。材料を軸とし、SiC、GaNだけでなく、高耐圧の期待されるGa酸化物、ダイヤモンドまで議論され、現在から将来にわたるパワーデバイスと材料・プロセス技術をバランスよく俯瞰することができました。

『応用物理』外部記者
木下 啓蔵 (PETRA)



President's Reception for Overseas Participants

3月16日(木) 19:00~21:00

横浜港を一望できる海上レストラン「ピア21」にて



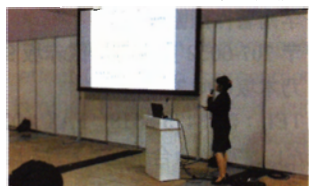
口頭講演

15.3 III-V族エピタキシャル結晶・エピタキシーの基礎

3月17日(金) 9:00~12:30

女性研究者研究業績賞受賞記念講演として、富永依里子先生 (広島大)に「光学デバイス開発へ向けた半導体結晶の欠陥制御の研究」と題して欠陥を減らす研究から欠陥を活かす研究への精力的な研究のご紹介をいただきました。

『応用物理』外部記者
荒井 昌和 (宮崎大)



特別シンポジウム

いま問われる研究業績評価: 応用物理と未来社会

3月17日(金) 13:00~17:00

開会の辞を述べる河田聡前会長 (阪大)

